

貴重なご意見

未来の茂原に活かします!

「市長と話し合う会」が、昨年(2014年)の11月2日、10日の2日間、市民室および本納公民館の2会場で開催されました。

参加した計81名のうち30人から42件の貴重なご意見・ご提言がありました。

今号では、その中の主な意見を抜粋した内容を特集しました。

市長と話し合う会



台風26号の

被害について

Q 台風26号による大雨により、第2調節池

(墨田)から水が越流し、周辺に大きな被害が出た。鶴枝にある調節池のように、きれいに整備を行い、保水力向上を図っていただきたい。

A この度の水害を受けて千葉県では、洪水等の専門家を交え、県と市とで構成する検討会議を設置し、浸水被害の範囲や浸水拡大の経過などの実態把握と、被害発生の要因を検証し、今後の対策を早急に行っていくこととしております。

県では、喫緊の措置として、第2調節池の越流した箇所土のうを設置し暫定的な対応をしているところですが、一宮川の洪水対策について、河川の拡幅や調節池の建設、堤防のかさ上げ等の抜本的な対策を講じていただくとともに、緊急的な対策として河川内の堆積土撤去や草木の除去についても、千葉県に対し要望を行ったところです。

また、河川流域の皆様が安心して暮らせるような対策が図られるよう、検討会議に提案していきたいと考えております。

Q 防災無線で放送された避難情報などが、風雨による影響でほとんど聞き取れなかった。自主防災組織が出来ている地域の代表宅には戸別受信機が設置されているが、一般家庭には設置されていない。各家庭で簡単に設置できるような受信機はないのか。また、サイレンなどを併用し、避難情報を伝達することは出来ないのか。

A 避難勧告情報を防災無線で放送した時間が早朝であったことや、台風26号による風雨が強かったため、聞き取れないというご指摘を多数いただきました。しかしながら、各家庭に戸別受信機を設置すると、1機あたりの設置金額は4万円を超えることから、今後の課題として検討させていただきます。

また、サイレンなどを併用して避難情報を提供すること